神戸大学医学部附属病院

放射線腫瘍科

指導担当医（役職）

妹尾　悟史（助教）

実習概要

実習コース

２週間コース・４週間コースどちらも可

概要

臨床実習１や講義だけではなかなか触れる機会のない、放射線治療について学びます。初日に個人の希望をお聞きし、詳細は個別に設定します。放射線治療の外来診察の同席や実際の照射の現場を見学したり、希望があれば数人の患者を受け持ち、医療面接と身体診察を行ってもらいます。担当の放射線治療患者に関しては、画像などの検査データの見方や方針決定の解説を受け、実際に治療計画装置のコンピュータを用いて放射線治療のシミュレーションを行うことも可能です。小線源治療という手技をともなう放射線治療に関しては手技の見学だけでなく、模型やシミュレータを用いて実習を行います。

実習スケジュール

月曜日：　外来（石原）・治療計画

火曜日：　外来（宮脇）および小線源治療見学（妹尾）

水曜日：　外来（川口）・治療計画

木曜日：　外来（佐々木）・治療計画

金曜日：　外来（石原）および小線源治療見学（妹尾）

学生へのメッセージ

放射線治療は学生さんにとって、なじみのない分野だと思いますが、がん治療の三本柱として重要な治療の一つであり、臨床における需要が年々と増えてきている領域です。放射線腫瘍科で扱う疾患は頭の先から足の先まで幅広く発生する腫瘍を対象としています。実習を通して全身のあらゆる検査・治療を、がん治療にかぎらず実際の患者さんを診察しながら学んでもらえればと思います。

がん治療は集学的治療であり、一人一人の患者さんにとって一番良い医療を提供できるよう、他科の先生方とのカンファレンス（意見交換）や他職種（看護師・医学物理士・放射線技師）と相談して治療方針を決定します。そのような実際の現場を、医師免許を持つ前に目の当たりにすることが、がん治療に限らず、医師として成長していく後押しになるのではと思います。

がん治療に興味のある方、単一臓器だけに専門を絞り切れない方、いろいろご相談に乗れることもあるかと思いますので、気軽な気持ちで来てください。